

令和6年度岡崎市市民意識調査報告書概要版

岡崎市市民意識調査について

調査目的

令和3年度から始まった第7次岡崎市総合計画に基づく各分野の取組みを参考に市民意識を調査し、本市のまちづくりに反映させることを目的とする。

調査概要

対象地域 岡崎市内全域
対象者 18歳以上の市民5,000人
調査方法 アンケート調査(紙・Web)
調査期間 令和6年10月18日～11月8日
回収状況 2,752人(回収率:55.0%)

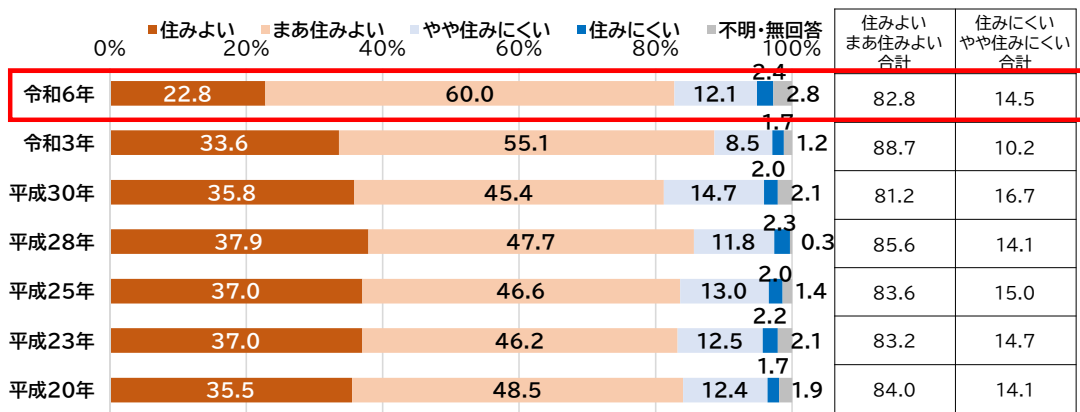
調査項目

1. 回答者の属性
2. 市の取組についての評価
3. 岡崎のまちの印象や居住意向
4. 市の取組みへの関心度・関度
5. 日常生活における行動や意識

岡崎市の住みよさについて

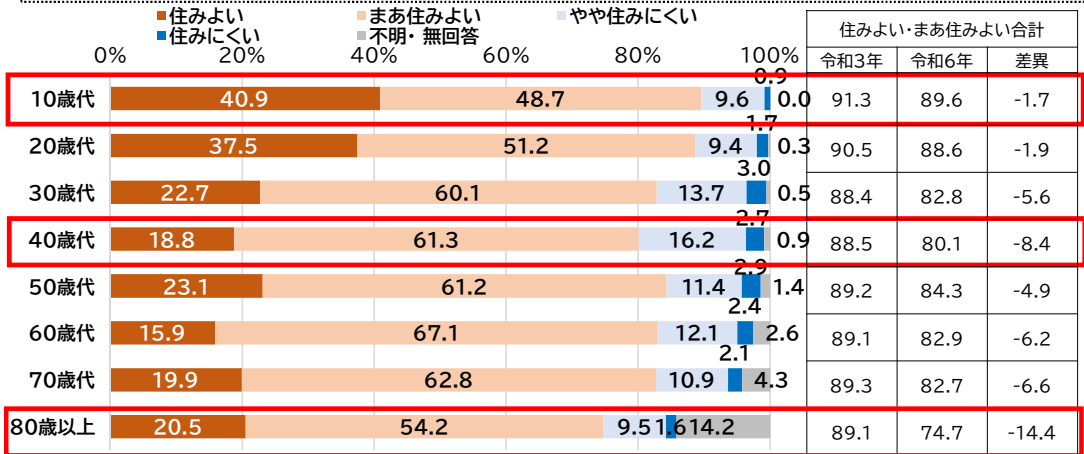
岡崎市の住みよさの経年比較

○「住みよい」が22.8%、「まあ住みよい」が60.0%で合計82.8%と全体的に高い評価。
○「住みよい」は令和3年の33.6%が令和6年は22.8%で10.8ポイント低下。



岡崎市の住みよさの年齢別比較

○「住みよい・まあ住みよい」は10代歳が高く、40歳代・80歳以上が低い。



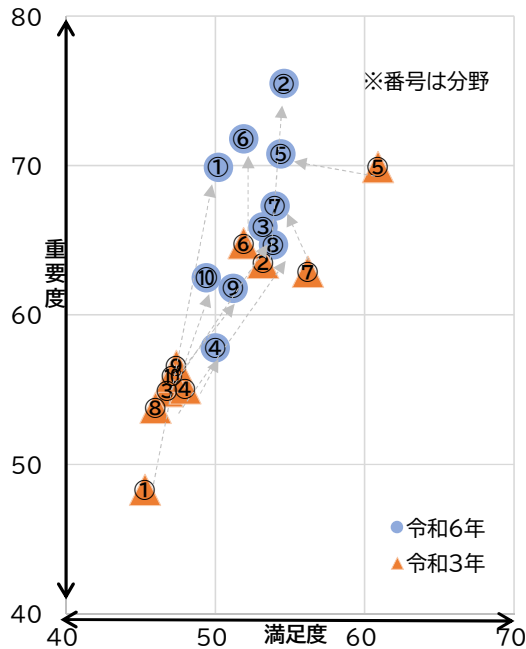
市の取組みについての評価満足度・重要度

評価満足度・重要度の令和3年・6年の比較

○令和3年から6年にかけて、全分野平均で満足度が2.0ポイント上昇し、重要度が8.2ポイント上昇しており、取組の充実を図られているものの、行政ニーズの高まりが伺える。
○令和6年では①都市インフラの整備、⑥子育て・男女共同参画が、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い分野であり、改善期待が大きい分野である。

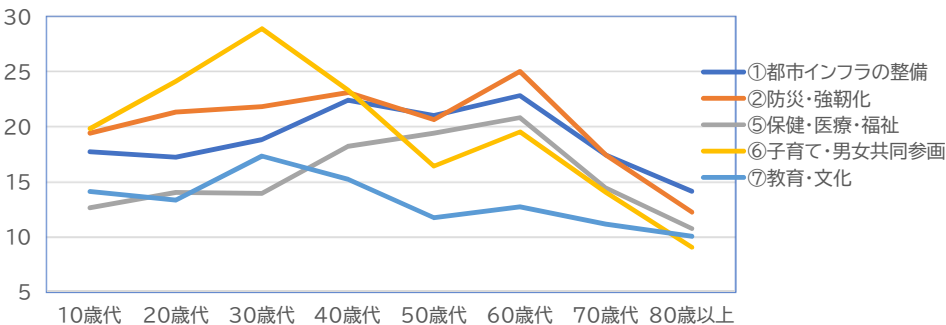
満足度	令和3年	令和6年	差異
① 都市インフラの整備	45.3	50.2	4.9
② 防災・強靱化	53.2	54.6	1.4
③ 環境・農山村	46.8	53.2	6.4
④ 地域社会	48.0	50.0	2.0
⑤ 保健・医療・福祉	60.9	54.4	-6.5
⑥ 子育て・男女共同参画	51.9	51.9	0.0
⑦ 教育・文化	56.2	54.0	-2.2
⑧ 商業・観光	46.0	53.9	7.9
⑨ 工業	47.4	51.2	3.8
⑩ 行政・パートナーシップ	47.1	49.4	2.3
平均	50.3	52.3	2.0

重要度	令和3年	令和6年	差異
① 都市インフラの整備	48.3	69.9	21.6
② 防災・強靱化	63.5	75.5	12.0
③ 環境・農山村	54.9	65.9	11.0
④ 地域社会	55.1	57.8	2.7
⑤ 保健・医療・福祉	69.9	70.8	0.9
⑥ 子育て・男女共同参画	64.8	71.8	7.0
⑦ 教育・文化	62.9	67.3	4.4
⑧ 商業・観光	53.8	64.7	10.9
⑨ 工業	56.6	61.8	5.2
⑩ 行政・パートナーシップ	55.9	62.5	6.6
平均	58.6	66.8	8.2



年代別 重要度平均値と満足度平均値の差（重要度上位5分野）

○年代別・分野別の重要度平均値と満足度平均値の差については、「⑥子育て・男女共同参画」が20～40歳代が大きく、子育て世代からの改善期待が大きい。
「②防災・強靱化」は60歳代が大きく、主な担い手となる年代からの改善期待が大きい。



お問い合わせ先

岡崎市役所 総合政策部 企画課 TEL 0564-23-7915